

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金

# 活動報告会

- ◆開催日 令和4年4月23日(土)
- ◆会場 ひらつか市民活動センター

## 目次

- スケジュール…………… P1
- 報告団体一覧…………… P2
- 入門コース 補助金報告書(2団体)…………… P3~18
- 発展コース 補助金報告書(2団体)…………… P19~27
- 組織基盤整備コース 補助金報告書(2団体)…………… P28~37

## 活動報告会スケジュール

●開催日：令和4年4月23日(土)

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
14:00	<b>活動報告会開会</b>
14:05	<b>活動報告会</b> ・団体による報告3分、審査委員との質疑3分、審査委員から講評2分  【入門コース】 ①14:05～ 撫子原自治会 ②14:20～ NPO 法人 しえんのまなび舎 -----小休止-----  【発展コース】 ③15:05～ あいあいリミック  【組織基盤整備コース】 ④15:20～ NPO 法人 暮らし・つながる森里川海 ⑤15:35～ 湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会 -----小休止-----  【発展コース】 ⑥16:05～ ひばり野のなかま達
16:20	<b>閉会</b>

## 報告団体一覧

### ●入門コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	撫子原自治会	津浪より家族・子どもたち・大人たち、その命を守る「逃げ地図」の普及活動	10万	P3
2	NPO法人 しえんのまなび舎	3世代コミュニティ	10万	P12
		合計	20万	

### ●発展コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	ひばり野のなかま達	ちいき・子ども食堂	24万	P19
2	あいあいリミック	リミックによる子どもの発達支援事業	36万	P24
		合計	60万	

### ●組織基盤整備コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	NPO法人 暮らし・つながる森里川海の運営体制の確立	14万	P28
2	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	情報発信強化事業	17万	P34
		合計	31万	

令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	撫子原自治会	
2 事業名	津浪より家族・子どもたち・大人たち、その命を守る「逃げ地図」の普及活動	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) <b>入門コース</b> ・ 発展コース	10 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和3年4月1日 ~ (完了期日) 令和4年3月31日	
5 事業の目的	<p>2015年神奈川県は津波想定値最大9.6メートル、到達時間6分と発表。当撫子原自治会は、ほとんどの地域が浸水予測地域となり多くの住民は”逃げれない”と諦め、津波が来ても避難しない（死んでもしょうがない）と考えた。その後平塚市の災害対策課と当自治会の共同で、2016年頃より撫子原地区の「逃げ地図」を作成し避難訓練で使用する。「逃げ地図」で「逃げられる」の認識ができた。その後平塚市は2018年（平成30年）に平塚市の「逃げ地図」を一般公開した。</p> <p>しかし「逃げ地図」は、①WEB上の公開のため、②住民の手元には無いことと、③時間がたち意識が薄れてきたこと、④また新規住民は「逃げ地図」を知らないなど「逃げ地図」を知らず上手く活用できていないことが分かり、</p> <p>1、「逃げ地図」を再作成し、配布することで津波避難時活用できること。 2、道路に安全エリア（避難目標ポイント）を表示することにより日ごろから津波に対する避難ルートを考えられる。 3、ここまで避難したら安全なエリアだと認識をさせる。</p> <p>これ等の対策で6分以内に避難しようと思わせる「命を助ける行動」を推進する。 「逃げ地図」：（「逃げ地図」とは、避難目標ポイントまでの時間を色鉛筆で塗り分ける手作りの地図。道路が色ぬりされることで、直感的に危険な場所、逃げ 方方向を理解することができる。よって、逃げ地図を見ながら、または作りながらより安全な避難ルートを考えたり、課題を考えたりすることが出来る。）</p>	
6 実施した内容	<p>1、なでしこ地区版「逃げ地図」の製作と2700枚（なでしこ地区、なでしこ小学校及びなでしこ公民館等）の印刷物の配布をする。</p> <p>2、「逃げ地図」の検討は2ヶ月からは3ヶ月に1回の割合で3人から4人で検討会を実施し平塚市とデザインのやり取りを10回弱行い決定する。</p> <p>3、表示板のデザイン設計と作成を行い、3月に23ヶ所の設置を行う。</p> <p>4、表示板のデザイン検討は平塚市の公の立場があり須賀地区との共通関連があることより、このことを踏まえ市とデザインのやり取りを10回程度行い、市の全面協力を得て、なでしこ地区特有の内容を盛り込み令和4年1月にデザインが決定し、表示板の材質、印刷方法など検討の上、2月下旬に作成し、3月上旬に設置する。また、逃げ地図の使い方を回覧、ちいき情報局に掲載し活用されるようにする。</p> <p>5、申請書と異なり、次の事項などが実施できなかった。</p> <p>1) 「逃げ地図」の使用法、活用方法の啓発 2) 公民館等で「逃げ地図」作成の講習会実施（市の協力を受ける） 3) 避難訓練の実施 4) アンケートの実施</p> <p>理由は新型コロナ感染防止対策で担当者が容易に集まれなかったこと、「逃げ地図」、「避難目標ポイント」のデザインにおいて、平塚市との協議が予想外に令和4年1月までかかり、それから地図の発注・配布が2月、表示板の発注、配布、取り付けが3月に入り、上記の事項は残念ながら時間が無く実施できなかった。</p>	

申請書と同じ内容を記入してください。

活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。

※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>1、「逃げ地図」を配布したことから、今まで「6分で到達、9メートル高の津波」では「逃げきれない」、「“死ね”って言われている感じ」から「逃げ地図」の活用で、大多数の住民が6分以内に避難目標ポイントまで避難できることが分かり「あきらめ」る事しかできなかった地域が、逃げ地図により「全員で逃げて生き延びる」という意識を住民が持てるようになる。</p> <p>2、家族全員で「逃げ地図」を基に避難ルート、避難場所、安全エリアの確認など情報の共有化ができ、避難する場合、家族別々でも避難場所を決めているため同じ避難場所に安心して避難することができるようになる。</p> <p>3、「逃げ地図」は子ども達だけでも理解できる上、家族と離れて遊んでいる時も安全な避難ルート、どこまで避難するか表示板を目標に避難することが可能となり避難場所までの避難行動が事前に確認出来るようになる。</p> <p>4、表示板を設置したことにより、散歩・買物など日常的に津波の避難目標ポイントを認識できることにより、津波発生時の避難に役立つ。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>1、「逃げ地図」・「避難目標ポイント」の作成に平塚市との調整が必要となり活動期間の大部分の時間をとられてしまい、活動時間が十分に取れなかった。</p> <p>2、今回の災害対策目標は単位自治会を想定して活動をスタートしたが、地区（広域）として考えなければ成らない内容を含んでいたため、複数の自治会の協力を仰ぐことになった。目標設定を策定する際は狭いエリア（単位自治会）、広域のエリア（自治会連合）など事前に検討する必要があることを痛感する。</p> <p>3、「避難目標ポイント」の表示板が想定より高額になった。素材、サイズ、印刷方法など事前の調査を十分すべきであった。</p> <p>4、改善・課題策</p> <p>1) 単位自治会で進めた活動だが、自分たちの地域のみではなく複数の自治会地域が含まれていたため、7つの自治会に活動途中で相談し、各自自治会の賛同・協力を得て活動が実施できた。</p> <p>2) 平塚市作成の「逃げ地図」の避難目標ポイントは机上での設定であり、現実では、住民は道路を基準に避難することから、道路の交差点等を選び表示板を設置するほうが住民に分かりやすいし実用的である。</p> <p>なでしこ地区の津波避難の認識がより高まったことは素晴らしいと感じる。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>1、今後「逃げ地図」、「表示板」を作成するときは「逃げ地図」で避難目標ポイントがもっと住民から見分りやすい位置を選ぶ必要がある。表示板は設置場所が右でも左でも設置できるよう避難方向の矢印を2通り作成すること、及び設置場所を見やすいように更に考慮する必要がある。</p> <p>2、「逃げ地図」を使って検討した避難ルート・避難時間を今回実施できなかった津波避難訓練を今後実施すること、訓練で「逃げ地図」を使ってみた感想（アンケート）、アンケート結果による「逃げ地図」の改善を新型コロナ感染対策等による影響がなくなった場合は行いたい。</p> <p>3、今までは「逃げ地図」・「避難目標ポイント」などの避難する意識の動機付けの「ツール作り」をしてきたが、今後はなでしこ地区として防災対策の組織体制づくり、避難マニュアル、備品・備蓄の充実（ユニホーム、旗、通信手段、保存食、避難所運営等）、ボランティアの活動方法などについてなでしこ地区独自の対応を検討して行く必要がある。</p>

活動・事業の収支決算書

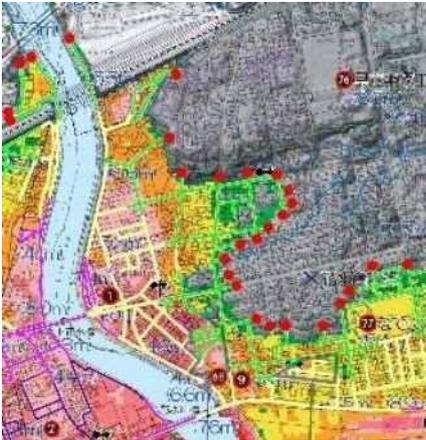
事務局記入欄	発展コース補助割合確認 <input type="checkbox"/>
--------	--------------------------------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

①	収 入	項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)	
		補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
		撫子原自治会 (会費)	21,000	16,230	-4,770		
		収入合計	A 121,000	B 116,230	B-A -4,770	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円	
②	支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
		印刷費	35,000 ( 35,000 )	17,230	17,230 ( 1,000 )	-17,770	逃げ地図印刷代 B4判 3000枚 (厚手の紙)
		物品購入費	66,000 ( 65,000 )	99,000	99,000 ( 99,000 )	33,000	避難目標ポイント表示板代 A4判30枚
		消耗品	20,000 ( 0 )		( )		
			( )		( )		
			( )		( )		
			( )		( )		
		支出合計	C 121,000 ( 100,000 )	D 116,230	116,230 ( 100,000 )	D-C -4,770	
③収支決算額 B 116,230 円 - D 116,230 円 = 0 円							【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

「逃げ地図」の変遷過程



オリジナル



標準避難ルート追加



使い方、避難時間追加

**津波の「逃げ地図」使い方** (この地図を逃げ地図と呼び、全てこの地区自治会連絡協議会 3/22年3月現在)

「逃げ地図」を使い、避難の最短ルートを家族全員で話し合い、逃げ地図に避難ルート、避難時間を書く。

1. 家族で自宅→避難場所(平塚工科大学など)、川から流れる(津波は川を濁し)安全な避難ルートを決めよう
2. 避難時間、①自宅を出るまで、②避難目標ポイントまで、③避難所までの時間を地図の下にある記入欄に書きこもう
3. 逃げ地図を家族全員が分かる場所に掲示しよう(例 冷蔵庫の扉など)
4. 「なでしこ公園」「獅子原緑地」など子どもたちが遊ぶ場所の避難ルートを確認しよう

●なでしこ公園・公園～平塚工科大学、獅子原緑地～平塚工科大学の黒線は推奨する避難ルートです。

4. 津波が発生したら避難する行動をしよう。「津波だ逃げろ」と隣近所に大きな声で呼びかけよう

QRコード: 逃げ地図のウェブページ

**避難所** 県立平塚工科大学 避難したらグラウンドへ 海抜8.4M

**避難所** なでしこ小学校 避難したら屋上へ

**避難所** 県立大磯高校 避難したら上へ

**逃げ地図 凡例**

逃げ地図	津波避難ルート	避難時間
0.5分以内	避難時間	避難時間
1分以内	避難時間	避難時間
2分以内	避難時間	避難時間
3分以内	避難時間	避難時間
4分以内	避難時間	避難時間
5分以内	避難時間	避難時間
6分以内	避難時間	避難時間
7分以内	避難時間	避難時間
8分以内	避難時間	避難時間
9分以内	避難時間	避難時間
10分以内	避難時間	避難時間

★避難方法 津波は高さ9.6メートル、6分以内に海岸まで来る  
あらかじめ家族で決めた最短で安全な避難目標ポイント(逃げ地図の●印)に逃げろ!大きな声で呼びかけろ!より高く!より速く!津波避難ビルなどへ避難!!!  
あきらめを生きる希望に!! ”全員で逃げ生き延びる”

最終：ランドマーク、避難方向、QRコード等追加

「津波避難ポイント」表示板の沿線の変遷過程



撫子原自治会単独検討



市 検討資料



最終：市+自治会の合同表示板

発注した「逃げ地図」と「津波避難ポイント」表示板、「逃げ地図」の家庭内での記入、掲示（例）



発注した「逃げ地図」



例：冷蔵庫に張った「逃げ地図」



記入した避難ルート、避難時間



なでしこ小学校配布



発注した表示板

「津波避難ポイント」表示板の取り付け作業



表示板の取り付け案

表示板取り付けの事前打ち合わせ



拡大版



電柱への表示板取り付け

「津波避難ポイント」表示板の取り付け作業





令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	NPO法人しえんのまなび舎	
2 事業名	3世代コミュニティ	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	10 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和3年4月1日 ~ (完了期日) 令和4年3月31日	
5 事業の目的  申請書と同じ内容を記入してください。	<p>現在、発達特性のある子ども（発達障害など）の子ども達に将来の就労経験のために宮松町自治会とコラボして、回覧板のセッティングやポスティング、掲示板の張替えなどの業務を行っているが、自治会館などを利用していくうちに、地域の方、特に、高齢者の方との関りが広がれば、いいなと思うようになった。</p> <p>また、NPO法人しえんのまなび舎では、毎週土曜日に発達特性のある子ども の保護者や支援者と子育て懇談会や学習会のような活動『ハッピーサロン』を行っている。そのサロンを子育て世代の方、また、子育てを終えた世代の方との交流の場になるようにしていきたいとも考えている。</p> <p>現在の地域活動は、互いに助け合ったり、学び合ったりする機会が減り、自治会活動も主体的に参加しようとする方が少なくなっている。また、高齢化も進み、自治会の運営も大変になっている。</p> <p>そこで、3世代コミュニティの場を設定することで、自治会を核とした交流を行い、世代を越えて活動する場へと広がっていくことを目的としている。</p> <p>障害があるとか、年齢とか、男女とかの枠を越えたユニバーサルデザインのコミュニティサロンの運営を協力して行い、平塚モデルを作っていきたいと考えている。</p>	
6 実施した内容  活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>3世代コミュニティで「世代を越えての交流を行う場作りをすること 地域住民が自分たちの地域での交流広げて、平塚を住みやすいまちにすること」を目的として、次の事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 発達特性のある子ども社会体験、就労体験での交流（参加延べ56名） 月1回の自治会回覧板・掲示板業務並びに動画字幕入れの仕事 コミュニティカフェのカフェ店員体験を企画 障害がある生徒の社会進出の足がかりになるような活動を提供した。 自治会会員、NPO法人しえんのまなび舎スタッフが協力</li> <li>2, ハッピーサロンでの子育て交流会（参加延べ165名） 講演会の実施10回（参加延べ220名） 毎週1回 子育て懇談会や学習会を開催 市民活動センター、ペガサス平塚センター、ウエルシア四之宮店、 相談事業所ミント、宮松町自治会会館、まちなかベースきちきち</li> <li>3, 宮松町コミュニティサロンとコラボ（参加延べ35名） 宮松町自治会の公園たんけん、ビートルズを聴く会、Facebook勉強会 花奈ガーデン見学、講演愛護会とコラボでチューリップの球根植え</li> </ol>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>回覧板業務の生徒の感想</p> <p>・仕事をすることで、頭を使い計画的に配布することに気づきました。僕は、自然に声掛けやサポートができるように成長できたと思っています。給料は、自分で働き有効的に考え、大切に使える環境に感謝しています。</p> <p>・回覧板を丁寧にプリントを整え袋詰めすることが出来ました。地域貢献している実感できて良かったです。自分で稼いだお金でアイスが買えました。・ホチキス止めの場所がわかるようになりました。チラシをそろえることが大事だとわかりました。紙をそろえるのが速くなりました。もらったお金でアイスクリームを買いました。美味しかった。・僕は回覧板のセッティングの確認が大事だとわかり、紙を目で数えるようになりました。給料でtoicaを買いました。自分のお金で買って、嬉しかったです。</p> <p>生徒たちは、いろいろな大人達と関わりながら、自分たちが地域に貢献できることを実感していた。また、生徒の親世代と祖父母世代での活動も企画することもでき、世楽しむことが出来た。</p> <p>一日、同じ場所でコミュニティカフェのようにいろいろな世代の方々が集まる場も設けたことで、活動の広がりが見えてきた。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>活動の企画をしても、コロナ渦でお年寄りや小さい子どもを持つお母さんに声をかけられなくなったり、生徒たちが学校の学級閉鎖などで参加できないこともあり苦戦した。</p> <p>特に、自治会との活動は、制限や反対派もあり、なかなか難しいものだった。自治会館の使用もコロナ渦で制限がかけられてしまったので、使用できないことも多かった。そこで、まちなかベースきちきちと言う新しい場所を使うにいたった。しかし、使用料がかかってしまったので、何回も使用することは、叶わなかった。野菜のマルシェなどで立ち寄って下さいった方から、この場所でやってみたいことのお話もあり、今後の活動拠点としての広がりを展望している。</p> <p>UDダンスの字幕を入れる仕事は、パソコン操作に慣れていない生徒達には、難しかった。実際にダンスを踊る体験をしたり、パソコンのキーボード練習を取り入れた。iPadを活用する活動は、今後、教えて下さるボランティア団体の方とコラボして生徒達と学んでいきたい。</p> <p>自治会館が使用できなかったことで、新しい場所を開拓して、そこでやってみたいことも出てきて、来年度に繋げていきたいと思う。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>「聴く力」をもとにした「コミュニティカフェ～はっぴー♡サロン～」を継続していきたいと考えている。また、そこで得た情報や悩みから専門家からの多方面の講演を聞く場作りを提供したいと考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達特性のある子ども社会体験、就労体験での交流 月1回の自治会回覧板・掲示板業務並びにカフェでの就労体験を実施。 発達特性がある生徒の社会進出の足がかりになるような活動を提供する。 ペガサス就職塾のスタッフ、NPO法人しえんのまなび舎スタッフが協力。</li> <li>2. 「はっぴー♡サロン」での子育て、介護の懇談会など実施 毎週1回 子育て懇談会やセミナー、セルフケア講習会を平塚各地で行う。 1か月に1回まちなかベースきちきちで1日コミュニティカフェも企画する。</li> <li>3. 講演会やセミナーの開催 「はっぴー♡サロン」の話し合いの中から専門家に話を聞きたいということがあり、月1回程度の頻度で市民活動センターでの講演会などを開催している。 それを充実させていきたい。</li> </ol>

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 <input type="checkbox"/>
--------	--------------------------------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

①	収入	項目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)		
		補助金	100,000		100,000		0		平塚市市民活動推進補助金		
		団体会員の会費	10,400		10,734		334		会費を一部充当		
		業務収益	39,600		39,600		0		回覧板業務報酬3,300円×12か月		
		収入合計	A	150,000	B	150,334	B-A	334	発展コース：補助対象経費 _____ 円 × _____ % = _____ 円 補助限度額 _____ 円		
②	支出	項目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)
		物品購入費	105,000 ( 80,000 )		103,580		103,580 ( 80,000 )		-1,420		ipad38,280円×2=76,560円、ipad附属品9,000円、カードメディア14,080円 充電器3,940円 ※動画の字幕作業に見合う機器に変更
		消耗品費	15,000 ( 10,000 )		14,454		14,454 ( 10,000 )		-546		回覧板用ホチキス・針2,190円、回覧板用ビニール袋3,255円、のり等454円、 ペーパーカップ等660円、封筒・領収書1,451円、印刷用紙等6,444円
		印刷費	30,000 ( 10,000 )		32,300		32,300 ( 10,000 )		2,300		広報誌掲載費16,000円、チラシ制作費15,000円、コピー代1,300円
			( )				( )				
			( )				( )				
			( )				( )				
			( )				( )				
		支出合計	C	150,000 ( 100,000 )	D	150,334		150,334 ( 100,000 )	D-C	334	
③		収支決算額	B	150,334 円	-	D	150,334 円	=	_____ 円	【備考】	

- 14 -

※支出額の ( ) 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。



はっぴー♡サロンと講演会

毎週土曜日のはっぴー♡サロンでの懇談会から、要望あった講演会を開催

# はっぴー♡ 子育て交流会 勉強会

## はっぴー♡ サロン

子育て交流会 相談

講演会 / 勉強会

はっぴーサロンに来てみませんか?  
毎月土曜日の午前10時～12時、下記に開催します。

こんな お悩みはありませんか?  
子育ての不安、悩み、疑問、相談、情報交換、交流、仲間づくり、など。

NPJ法人 しんかのまじあ

〒046-0204 15107

ご存知ですか? ティスレクシア  
一言語研究士の眞事から学ぶ

10月 10日(日) 10:00-11:00

ディスレクシア  
についてのお話  
をききました。

ワレレンア四ノ宮の  
ご訪問のあと  
相談会中!!

「アンカ-マネジメントを学ぶ」

2021年6月20日(日) 9:30~

怒りのコントロールを  
学びました。

ほっと息  
アロマ体験

ベガナス社長による  
教養支援のお話

ありのまま  
大切に

自立支援の活動

回覧板のセッティングとポスティング、回覧板の貼り替え

# 自立支援

～ 発達特性のある子どもの社会体験・就労体験～

順番とまらがない  
よつにそろえていぼう!  
はいすわねに



きれいにそろえて  
ポスターズを貼よう!!



みんなに知らせよう!  
しよしそろえよう!



セッティング

① 回覧板の



年間大賞いただきました!!



② 回覧板の  
ポスティング



晴れの日も雨の日も  
とどけにいまます!!



生徒の声



お花畑にも  
はつたよ!!





令和3年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひばり野なかま達	
2 事業名	ちいき・子ども食堂	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。 入門コース ・ <u>発展コース</u> )	24 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和3年4月1日 ~ (完了期日) 令和4年3月31日	
5 事業の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p><b>*実施の目的</b></p> <p>①次世代を担う子ども達の生活環境を少しでも良くするための一助 ②地域住民との交流 ③様々な人々への理解を深める。 ④幅広い世代への活動の場の提供</p> <p><b>*課題・公益性</b></p> <p>子どもや高齢者、若者たちを取り巻く環境は、様々なニーズ、例えば虐待、ネグレクト 引きこもり、一人暮らし、老々介護、介護離職等を抱えている。昨今では、コロナ感染症 により、生活困窮をも引き起こされている。将来を担う子ども達や幅広い世代の人々、 又、食事をとおして交流する事で互いに理解し合い、寄り添い安らげる場所の提供、 必要に応じては、関係機関との連絡も考慮する。</p>	
6 実施した内容  活動・事業の実績 (実施内容・実施 日・場所・参加人数 など)について具体 的に記入してくださ い。  ※ 申請書の内容と相 違があった場合はそ の変更点と理由を記 入してください。	<p><b>*実施内容</b>：地域住民のニーズある人々（生活困窮、孤食、高齢者の一人暮らし、老夫婦世帯、その他）に対し夕食の提供。  <b>*実施日</b>：毎月第2・4火曜日  <b>*場所</b>：麵屋DINING NANASHI  <b>*参加人数</b></p> <p>R3. 4/13=40人      4/27=45人           5/11=53人      5/25=50人           6/8 =50人      6/22=60人           7/13=49人      7/27=45人           8/10=35人      8/24=44人           9/14=50人      9/28=50人           10/12=45人     10/26=45人           11/9 =50人     11/23=50人           12/14=50人     12/28=50人</p> <p>R4. 1/11=35人      1/25=40人           2/8 =休み      2/22=休み           3/8 =休み      3/22=30人</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>コロナ感染症の蔓延の為、活動の幅が狭まり、交流の場が減少した。しかし、蔓延前に短期間でも会食形式が取れた事で、少数ではあるが家庭のニーズが把握できた。生活の困難な家庭に、米、野菜、その他食料品やマスク等を配布することができた、また、相談にも乗れ、家族の笑顔が増えてきている。</p> <p>食事内容の意見では、テイクアウトでお弁当を渡す事が精一杯であったが、その中でも「～が美味しかった」「～は、子供さんは食べられましたか」等々の感想を少しでも聞かれ、献立に反映することができた。</p> <p>過去の会食形式では、時間がゆったりと流れ、最高が30食であったが、テイクアウトにしてからは、遅く帰宅の父親の分等で、購入数が増加し、最高では50食を超える事もあった。</p> <p>アレルギー等の把握もでき、使用食材を事前に周知できた。これは、ボランティアの意識向上に繋がった。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>*ボランティアの活動内容が調理に集中する余り、他の活動（搬入、食材の集配、記録、事務等）が一人に集中し負担が大きい。コロナ蔓延の為、ボランティアの募集がしにくい。</p> <p>*コロナの影響も含め、食堂のニーズの高さが実感できるが、人との接触が多い活動だけに、分散させながら継続させていく事の難しさを感じ、休まざる得ない事が数回できた。どのように感染を防ぎ、食堂としての機能を継続していくか検討の余地は大きい。</p> <p>*新たな感染対策はしたが、まだ十分とは言えない。</p> <p>*新たな感染対策：献立を簡単な物・品数を1品減らす事にし、活動人数・時間の短縮。ニーズはあるが提供数を減らし、接触時間を短時間にする。</p> <p>カットする食材は、ボランティアの一部の人が自宅で行い、接触時間を短時間にする。</p> <p>ボランティアの健康管理の徹底（健康管理確認、検温、SPO2、手洗い、手指の消毒、予防接種等）来店者との接触を減少させるため、アクリル板の強化。金銭授受をトレーにする。</p> <p>弁当を入れる袋を預からない。</p> <p>受付者は、マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋の着用の実施。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>*子ども食堂のニーズは高いため、いつ収束するかわからないコロナ感染に、ウィズコロナとしての活動方針の樹立を目指す。</p> <p>*南原地区からの、子供食堂への期待も高いので、ニーズにあった活動の方向性を見出す。</p> <p>*ボランティアの活動方法を、様々な視点から検討していく。</p> <p>*将来、NPOへの法人化も検討している為、組織の基盤作りをしていく</p>

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

①	項目	収		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)	
		予算額 (円)	決算額 (円)			
収 入	補助金	240,000	240,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
	寄付金	369,600	78,654	-290,946	個人等	
	助成金	0	90,000	90,000	支社協30,000円 生き生き市民活動財団60,000円	
	事業収入	0	183,172	183,172		
	収入合計	A 609,600	B 591,826	B-A -17,774	発展コース：補助対象経費 347,644 円 × 90 % = 312,879 円 補助限度額 310,000 円	
②	項目	支		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)	
		予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)			
支 出	保険料	30,240 ( 30,000 )	41,720	31,640 ( 30,000 )	11,480	全社協行事保険料41,720円 (※内：学習支援分7,290円は補助対象外)
	物品購入費	100,300 ( 100,000 )	212,352	212,352 ( 110,000 )	112,052	弁当箱38,552円、アクリル板73,417円、消毒用ディスペンサー4,780円、 かご(コンテナ) 17,360円、パルスゼロメーター4,356円、 調理器具等48,356円、他消耗品25,531円
	印刷費	38,300 ( 20,000 )	23,540	16,250 ( 15,000 )	-14,760	ちらし・ポスター印刷代 (※内：団体の総会資料等7,290円は補助対象外)
	食糧費	286,080 ( 0 )	176,131	0 ( 0 )	-109,949	食材165,556円、茶菓子代等10,575円
	事務用品費	98,904 ( 70,000 )	118,723	77,022 ( 75,000 )	19,819	テプラテープ5,280円、ラベルテープ10,637円、光熱水費50,000円、 他(紙、テープ類、ゴム印等) 11,105円、 会計ソフト41,701円(補助対象外)
	旅費交通費	15,000 ( 2,000 )	11,300	2,320 ( 2,000 )	-3,700	駐車場代2,320円、ガソリン代8,980円(補助対象外)
	雑費	40,776 ( 18,000 )	8,060	8,060 ( 8,000 )	-32,716	切手8,060円
	支出合計	C 609,600 ( 240,000 )	D 591,826	347,644 ( 240,000 )	D-C -17,774	
③収支決算額 B 591,826 円 - D 591,826 円 = 0 円					【備考】	

※支出額の ( ) 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。



お弁当への盛り付けの様子



洗い場での洗い物の様子



未就学児用のお弁当



お弁当への盛り付けの様子



子ども・大人・シニア用のお弁当



お弁当をお待ち頂いている様子



2021年クリスマス付近のお弁当  
子どもへプレゼント付き